

北沢デザイン通信

～ 思いつながる、人つながる、街つながる～

まちの活動編



冊子の発行にあたり

世田谷区では、小田急線（代々木上原駅～梅ヶ丘駅間）連続立体交差事業および複々線化事業による鉄道の地下化に伴い生じた線路跡地（以下、線路上部）の整備に取り組んでいます。

現在、世田谷代田駅や下北沢駅、東北沢駅の各駅駅前広場や駅間通路、緑地・小広場などの施設整備を行い、地域の皆さまが新たに利用できる公共空間が広がっています。しかし今、お祭りやイベント等のまちの活動は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、中止や延期、内容の変更を余儀なくされています。

この冊子は、これまで線路上部とその周辺で行われてきたまちの活動について、主催者の方々からお話を伺い、紹介することで、活動の輪を広げられればと考え作成いたしました。

P.2

まちのイメージ

P.4

これまでのまちの活動

P.12

小田急線上部の整備の進捗

令和3年1月

発行世田谷区北沢総合支所街づくり課

まちのイメージ

「世田谷代田」「下北沢」「東北沢」ってどんなまちですか？

ここでは、まちのイメージを各駅ごとに100人ずつインタビューし、まちのイメージをまとめました。インタビューの結果、それぞれのまちの特徴が見えてきました。



世田谷代田
SETAGAYADAITA

住宅街
アットホーム
住みやすい
静か
のんびり
良い
のどか
便利
閑静
寂しい
歴史豊か
交通の便が良い
買ひものに不便
何もない
平穏

駅前に何もない
街の良さが活きている
やさしい人の
カフェが増えた
安心する
何でもある
公園がある
人が少ない
ゆったりとした
温かい
落ち着いた
お昼を食べるお店がない
人情豊か
楽しい
下北沢に行きやすい
のどか
カフェが多い
公園の多い
便利
おしゃれ
環境が良い
さびれている
あんまりコンビニがない
独特
特別な所
歴史豊か
寂しい
歴史豊か
交通の便が良い
昔からの歴史があるけど新しい
これからの発展が楽しみな
下北沢に近い
少し暗い
巨人
買ひものに不便
これからが楽しみ
最近
何もない
平穏
教育レベルが高い人が多い

便利な
アート
おだやかな
便利になりそう
いい意味で微妙な
素敵なお店がこっそりたくさんある
個人カフェが多い
坂の多い
変わっていく
お祭りがある
高級住宅街
富士が似合う
騒がしくない
子育てしやすい
のんびりゆったり
カフェがある
もちつき
歴史豊かな
日常生活に使うお店がない
ちょっと残念な
ありがとう
歩いてすぐ出かける
お店が少なく少し不便
富士見のかけれスポット
上品な
何があるんだろう
発展してきた
きれい
最近
何もない
平穏
教育レベルが高い人が多い

各駅の
ワードランキング!!

- 世田谷代田駅**
- 1位 静か
 - 2位 住みやすい
 - 3位 コーヒー
- 下北沢駅**
- 1位 古着
 - 2位 オシャレ
 - 3位 若者
- 東北沢駅**
- 1位 静か
 - 2位 住みやすい
 - 3位 便利

※インタビューの分析はワードクラウド手法を用いました。回答数の多い言葉が大きく表現されるようイメージ化しています。



東北沢
HIGASHIKITAZAWA

住みやすい
静か
便利
閑静

にぎやかな町ではない
交通の便がいい
アイデアが少ない
小さい
高台
人に優しい
人の集りがある
何もない
のびしろがない
素敵なショップが多い
公園がきれい
良くも悪くも静か
大人の隠れ家的
これからの
駅前になにもない
古着
核がない
楽しい
高級住宅街
住みやすそう
人が良い
安心してらせうな
びみよーにふべん
過ごしやすい
東京のオアシス
立地が一番
おだやかな
のどかな
地味
安心
何をすれば良いか考える方が少ない
公園で遊ぶ
北沢公園のある
これからが気になる
アクセスのいい
飲食店が少ない
代々木上原に近い
工場などが進んでいて
こどもが公園であそぶ
今後キそうな
高層者が多い
不可思議
程よく上品
のどか
スリム
下北沢と代々木上原の間
バリジャンゼリゼリ商店街
住宅街
代々木上原と下北沢の間



下北沢
SHIMOKITAZAWA

オシャレ
古着
若者
カレー

個性豊か
歩いて楽しい
慣れ親しんだ
変わる
古本
サブカルチャー
駅前広場を考慮して
服装がタイプの男性が多い
やさしい
おだやか
素敵なコミュニティがある
アタラシイ街
ごちゃごちゃ
居心地の良い
アメリカン
すばらしい
住み良い
いろんな人がいる
好きなことができる
マナーが悪い
若者が元気
Icon
ハートフル
雑多
変化のある
いろいろなことができる
犬を連れて歩ける
低学年でも書ける
えんげき
いつも新しい
変化がまちどおしい
生活用品を揃えるには不便
いつも建設してる
雑然とした
パワー溢れる
ゆっくり
Fashion
ハンドメイド
放課後にくる
南北で様子が違う
おしゃれな
Jkの多い
劇場
エンタテインメント
変わってしまった
自由
世界一だれにでも優しい
音楽仲間と集まりやすい
ロンドンのカムデムマーケットのよう
色んな年代の人達が楽しめる
自由な表現が出た
落ち着かない
上北沢よりまし

これまでの まちの活動

ここでは、
世田谷代田駅・下北沢駅・東北沢駅の
駅周辺の公共空間を活用した
まちの活動をまとめました。
主催者にインタビューし、
活動の概要やきっかけ、
続ける工夫などを伺いました。
それらの活動を「活動を始めた動機」で
4つに分類してご紹介します。

※ここで掲載しているイベントやお祭りは、
複数の団体が連携しているものを取り上げています。

1 まちの文化で盛り上げたい

- ・下北沢音楽祭
- ・下北沢演劇祭
- ・きたざわまつり
- ・せたがや梅まつり

2 まちの魅力を知ってもらいたい

- ・下北沢カレーフェスティバル
- ・世田谷代田ものこと祭り

3 まちの安全・安心を支えたい

- ・ナイトパトロール
- ・落書き消し隊
- ・世田谷代田SAP

4 まちの憩いの場をつくりたい

- ・まちピアノ・プロジェクト
- ・下北沢リンク・パーク
- ・代沢芸術祭
- ・356広場花植え隊
- ・ヤマボウシ(39広場管理協力会)

1 まちの文化で 盛り上げたい

ここでは、音楽や演劇といった地域の文化や、
公園の梅林といった地域の特色を活かし、
地域の方が中心となり行っている活動をご紹介します。
活動は多くの団体が運営に携わる
実行委員会形式で行われています。

30年の歴史を持つ、伝統と創造のまちの顔

下北沢音楽祭

プロジェクト・プロフィール

主催：下北沢音楽祭実行委員会
活動開始年：平成2年(1990年)
(平成3年第1回開催)
開催時期：7月

主な会場：北沢タウンホール、ライブハウスなど

■ 活動概要

歴史あるイベント

下北沢音楽祭は、30年の歴史を有する下北沢を代表するイベントの一つです。毎年7月上旬の4日間、北沢タウンホールや下北沢駅周辺の地元ライブハウス、約10カ所の屋外会場など、下北沢のまち全体をステージにして行われます。

出演者は、プロだけでなく、下北沢小学校合唱団、下北沢成徳高校吹奏楽部、関東7大学からのバンド、親子バンドも登場し、多彩なプログラムが目白押しです。

■ きっかけ・経緯

テーマは「異世代共存響声」

このイベントのきっかけは、北沢タウンホール誕生のPRでした。平成3年から「ワールドミュージックフェスティバル イン 下北沢」としてスタートし、平成12年からは「異世代共存響声」をテーマに様々な世代が参加する音楽イベントになっています。

■ 特徴・工夫など

主催は実行委員会

イベントを主催するのは、下北沢の6つの商店街、2つの町会、ライブハウスなどから構成される実行委員会です。近年の実行委員の人数は40名以上に上り、7

月の開催に向け、前年の11月から毎月集まって企画を持ち寄り、4月頃からパレードの安全対策について警察と打合せを始めます。

パレードを支えるのは学生たち

パレードは自主警備で臨んでおり、そのスタッフの募集は区役所を通じて呼びかけ、音楽好きの大学生がボランティアで協力してくれることもあります。又、実行委員は様々な人がおり、例えばボランティアで関わった学生が、翌年実行委員になるケースもあります。

地域のつながりの尊さを実感

ここ数年、下北沢では小田急線の地下化に伴う工事のため、路上ライブの会場が変更になり様々な調整が必要になっています。

例えば、新しい道を通ったり、ビルが建ったりすることで音の響く方向がガラリと変わり、思いもよらない方角にお住いの方からご意見をいただいたことがありました。

その際に挨拶にうかがうと、昔から知っている方が出てこれ、スムーズに解決でき、地域のつながりの尊さを実感することもあります。



お話を伺った方
柏 雅康さん
下北沢音楽祭 実行委員長

「演劇のまち」を代表するイベント

下北沢演劇祭

プロジェクト・プロフィール

主催：下北沢演劇祭実行委員会
活動開始年：平成2年(1990年)
開催時期：2月

主な会場：下北沢駅周辺の劇場、北沢タウンホール



■ 活動概要

「演劇のまち」のイベント

下北沢演劇祭は、「演劇のまち」下北沢を代表するイベントです。

北沢タウンホールなど下北沢にある約10の劇場が会場となり、毎年2月の1カ月間、毎日まちのどこかで演劇が行われます。

このイベントは、地元劇場等の演劇関係者や町会、商店街、地域活動団体による実行委員会によって運営され、これまで30回の開催を重ねてきました。今では、舞台俳優を志す若者にとって、ステップアップの機会となっています。

■ きっかけ・経緯・特徴など

「地域に根差した手作りの演劇祭」

このイベントのきっかけは、北沢タウンホールの誕生と、「下北沢にある演劇の文化を発信しよう!」という当時の関係者の想いでした。それ以来、「地域に根差した手作りの演劇祭」をテーマに取り組んできました。

様々な劇団による演目はもちろんのこと、第4回からは、公募により集まった出演者による「演劇創作プログラム」を上演しています。幅広い世代の方々が、仕事や学校と両立しながら真摯に演劇と向き合っており、今ではオーディションをする程の応募があります。



お話を伺った方
吉田 圀吉さん
下北沢演劇祭 実行委員長

まちの団結を深める

きたざわまつり

プロジェクト・プロフィール

主催：きたざわまつり実行委員会

活動開始年：昭和59年(1984年)

開催時期：10月

主な会場：北沢タウンホール、北沢公園、
旧北沢小学校(現池之上小学校)



■ 活動概要

北沢地域を愛する人達の手づくりのまつり

きたざわまつりは、“心のふれあうまち”、“気軽にあいさつを交わせるまち”そんなまちづくりの願いをこめた北沢地域を愛する人達の手づくりの祭りです。

北沢タウンホール、北沢公園、旧北沢小学校(現池之上小学校)の三つの会場で毎年10月後半の週末に行われ、令和元年で37回の開催を重ねてきました。地元町会、商店会、PTA、各種団体など、令和元年では34団体が参加し、約70名から成る実行委員会が主催しています。

■ 経緯・特徴など

3段階の組織で、まつりの計画を決定

昭和59年からスタートしたこの祭りは、地域の人達が手づくりで行って来ました。実行委員会は多くの方がたずさわるため、祭りの内容は、まず企画委員会で計画を検討し、それを企画役員会で決定し、実行委員会で承認します。

会場ごとに様々な催し

三つの会場では、場所にに応じた様々な催しがなされます。北沢タウンホールでは、舞台発表・フリーマーケット・作品展示等、北沢公園では、模擬店・バザー・餅つき大会、旧北沢小学校(現池之上小学校)では綱引き大会が開催され、令和元年には2万人以上の方に来場していただきました。



お話を伺った方
藤原 成義さん
きたざわまつり実行委員長



column

まちの文化で盛り上げたい 北沢タウンホールと 下北沢音楽祭

下北沢オリジナルのイベントを

今から40年ほど前の下北沢駅周辺では、各商店街が個々にイベントを開催していました。当時、4つの商店街の青年部メンバー約30人が懇親会を開き、「下北沢オリジナルのイベント」を作ろうという話になりました。

そこで企画したのが、しばらく取りやめになっていた「下北沢天狗祭り天狗道中」の復活と各店舗で工夫した目玉商品を販売する「べらぼう市」でした。

音楽祭のきっかけはタウンホールのPR

そして、小清水さんがしもきた商店街振興組合の理事長になった頃、北沢タウンホールが建設されることになり、区役所から「地域の皆さんにPRしてほしい」との依頼を受けました。ライブハウスもたくさんあったため音楽祭を構想し、4商店街と2町会で実行委員会を立ち上げました。当時、阿佐ヶ谷のジャズフェスティバルは世界的ジャズピアニストの山下洋輔を筆頭に街中で盛り上がっていたので、参考にするため見学しに行きました。

当初の会場はタウンホールのみで、地域の日本舞踊の団体や合唱クラブなどの発表会のような内容でした

春の訪れを楽しむ

せたがや梅まつり

プロジェクト・プロフィール

主催：せたがや梅まつり実行委員会

活動開始年：昭和51年(1976年)

(昭和53年第1回開催)

開催時期：2月中旬～3月上旬

主な会場：世田谷区立羽根木公園内

■ 活動概要

羽根木公園の梅林で行う歴史あるイベント

せたがや梅まつりは令和2年で43回を数える歴史あるイベントです。毎年2月から3月にかけて、羽根木公園の梅林で、模擬店や植木市、茶席や餅つき、太鼓演奏などが行われます。

■ きっかけ・経緯

梅で地域を盛り上げよう

羽根木公園の梅林は、昭和42年に55本の梅の木の植樹をきっかけに、現在では650本、60種以上を

が、メジャーな音楽家を呼びたいと考え、世界的ピアニストのフジコ・ヘミングさんに依頼しました。その後、泉谷しげるさんや故忌野清史郎さんにも参加してもらえるようになりました。

また、路上ライブはタウンホール公演の事前PRとして、下北沢の商店街全域で始まりました。

パレードと環境美化条例

音楽祭の「パレード」のきっかけは、タバコのポイ捨てを禁止する条例の区域第1号に下北沢が指定されたことでした。

ライブを聞きに来たお客さんがタバコの吸い殻をすてることに、あちこちから苦情が出ていたため、たばこのポイ捨て禁止のPRを兼ねていました。

地域が一つになるイベント

小田急線と京王井の頭線で区切られた下北沢の街ですが、各商店街が協力してきた下北沢音楽祭。「継続は力なり」「下北沢は一つ」を合言葉に今回は第30回を迎えます。

お話を伺った方
小清水 日出夫さん
元下北沢音楽祭 実行委員長



誇る区内有数の梅林に育ちました。

昭和51年頃から地域の商店会、町会、法人会をはじめ多くの人たちが集まって地域を盛り上げようと企画を立て、昭和53年に第1回せたがや梅まつりが開催されました。

■ 特徴・工夫など

地元になんだ商品提供により参加の輪を広げる

祭りの会場で地域の様々な商品を提供したところとても好評で、その後は地元の梅丘商店街振興組合、代田商店会、羽根木双葉会、東松原商店街振興組合が揃って参加するようになりました。第7回目から地域団体が集まる実行委員会形式になり、地域で活動する様々なジャンルの人たちの交流の場にもなっています。

実行委員会でもブースを出し、そこで提供される梅大福などは世田谷名物にもなっています。毎年10数名による企画委員会を3回開催し、3回の実行委員会で内容を決定しています。

「世田谷は、いわゆる観光地ではないが、地域の文化や活力で魅力ある土地柄にしていきたい。」と齋田さんは言います。



お話を伺った方
齋田 孝さん
せたがや梅まつり 実行委員長

2 まちの魅力を知ってもらいたい

ここでは、カレーなどのまちの魅力を知ってもらいたいという想いから始めた活動をご紹介します。有志が集まってスタートし、開催を重ねるごとに工夫を凝らし、現在では地元商店街などと連携して開催しています。

カレーを下北沢のブランドに

下北沢 カレーフェスティバル

プロジェクト・プロフィール

主催：下北沢商店連合会

活動開始年：平成24年（2012年）

開催時期：10月

主な会場：下北沢駅周辺及び駅周辺の飲食店

活動概要

まち全体が会場

下北沢の名物の1つになっているカレー。その火付け役が毎年10月に開催されているカレーフェスティバルです。下北沢中の飲食店が参加し、2020年のカレーフェスティバルでは約140店舗が参加。バラエティに富んだカレーが各店舗で提供されます。



きっかけ・経緯

「イベントを通してまちを知ってもらいたい」

9年前、商店街に所属していなかった西山さんは何名かの仲間とカレーの可能性に気づき、何か楽しいイベントができないか考えていました。

当時の下北沢はイベントを行う会場がなかったため、街全体を会場にしたカレーのイベントをしよう！と下北沢のお店に声をかけ40店舗ほどの参加で始まったのが第1回のカレーフェスティバルです。国民食であるカレーを通して、もっとまちを知ってもらいたい、好きになってもらいたい、という想いがきっかけでした。

商店街と連携した街づくり

下北沢にはまだまだ知られていない魅力的なお店が多く存在します。西山さんは「もっと多くの人に知ってもらうためには？」「よりよい街にするにはどうすれば？」と試行錯誤しながら商店街や地域の方々と連携しながら日々活動しています。

特徴・工夫など

新たなイベント様式を確立

新型コロナウイルス蔓延により各地イベントの自粛が余儀なくされましたが、「令和2年は開催期間の延長や野外飲食エリアの新設、全店テイクアウトの実施など、3密を回避した新しいイベント様式を作り上げることができました。参加店舗の皆様のご協力もあり、例年同様の集客率となり、暗くなりがちな難しい時期に笑顔で参加する人々がとても印象的でした。」と西山さんは言います。



お話を伺った方
西山 友則さん
下北沢カレーフェスティバル
実行委員会

地元と全国から、人やお店が集まって、まち中で新しい関係を作り続ける

世田谷代田 ものこと祭り

プロジェクト・プロフィール

主催：世田谷代田ものこと祭り実行委員会

活動開始年：平成24年（2012年）

開催時期：8月

主な会場：世田谷代田駅周辺商店街、代田八幡神社、世田谷代田駅構内、世田谷代田キャンパスなど

活動概要

地元と全国から人やお店が集まって、まち中に広がる

平成24年からスタートしたものこと祭りは、地元のお店はもちろん、全国からのお店が出張し、今日しか出会えない“もの”と“こと”でおもてなしをするお祭りです。代田八幡神社の境内や世田谷代田キャンパス、世田谷代田駅構内、そして商店街を歩行者天国にして街中で開催されます。令和元年の参加店舗は80店以上。毎年仲間が増えています。

きっかけ・経緯

得意なこと地域をおもてなし

10年ほど前に世田谷代田に工房を開いた南さんは、仲間と話している内に「あちこちの店先を1日だけ借りて自分達の得意なこと地域をもてなす祭りをやってみよう」というアイデアに辿り着きました。デザイナーやクリエイターなどが集まり、何回も話し合いを重ねました。

特徴・工夫など

地域の方へ相談しながら

南さんが、当時住んでいたアパートの大家さんに構想を話すと『商店会の会長のところへ行ってみたほうがいいよ』と奨めてもらい、相談してみたところ『やってみたら!!』と快諾してくれました。神社の境内を使わせて欲しい、という希望にも快諾を頂きました。

地域の一員となる中でまち中に広がる

6年目になった時、南さんは地域の人から『この車を止めて歩行者天国にしてみたらどうかね!?!』と声をかけられました。町会の会長さんのアドバイスに従って警察と協議を行い、実現しました。

祭りの最初の参加は14店舗、来訪者は900人でした。令和元年は、100店舗近くになり約3,000人が来訪しています。

自分たちの楽しい未来をどうやって築いていくか

南さんたちは、時間をかけて地域のみなさんと新し



お話を伺った方
南 秀治さん
ものこと祭り 実行委員会代表

い関係を築いてきました。収益性を目標とせず、それぞれの参加者が、10年通って感じる変化を大切にしてきました。

「重要なのは、自分たちの楽しい未来をどのようにして築いていくか」と南さんは考えています。

また、地域の人たちとの関係を大切にしたいと考えた南さんは商店会や町会にも入りました。「実際、入ってみたいとわからないこともたくさんあります。皆さんの活動への思いや喜びについて、時間をかけて教わりたいたと考えました。」と南さんは言います。

3 まちの安全・安心を支えたい

ここでは、落書きや防犯などのまちの課題を自分たちの手で解決していこうという想いから始めた活動をご紹介します。複数の団体が連携して取り組む中で、地域のコミュニケーションの場になっている活動もあります。

拡がる防犯の輪

ナイトパトロール

プロジェクト・プロフィール

主催：北沢2丁目協和会

活動開始年：平成24年（2012年）

開催時期：1回 / 月 第3水曜午後8時から

主な活動場所：北沢2丁目協和会区域内、下北沢駅周辺など

活動概要

月に一度、20～30名で夜間の防犯パトロール

ナイトパトロールは、毎月第3水曜日の午後8時に、約30名のメンバーがまちの防犯パトロールをしながら、ごみ拾いや、落書き・違法駐輪の実態確認の活動です。北沢2丁目協和会の区域を中心に参加団体の区域を含め、毎回パトロールする区域を変えて活動しています。

きっかけ・経緯

きっかけは犯罪の多さ。様々な団体から参加

北沢2丁目協和会の区域内は、区内で2番目に犯罪数が多かったため、防犯を目的に北沢2丁目協和会メンバー6名でナイトパトロールの活動をスタートしました。北沢2丁目協和会と町会区域内の「しもきた商店街」とは落書き対策の活動を一緒にしていたため、しもきた商店街のメンバーも合流しました。その後も定期

的に実施しながらメンバーが増えていき、一番街商店街や隣接する北沢3・4丁目西町会の方も参加するなど、1町会の活動の枠では収まらない活動に展開しています。

現在では、北沢PR戦略会議のメンバーや区も参加するようになり、約30名のメンバーが参加しています。

柔軟な運営で参加しやすく

平日の夜8時という少し遅い時間帯は、忙しい商店街の方が参加しやすいようにと考えています。「複数の組織から参加があるため、活動範囲は北沢2丁目協和会内だけでなく、その都度、パトロールのルートを決めるという柔軟な運営を心がけている」と、運営担当の森さんは言います。

特徴・工夫など

地域のコミュニケーションの場

複数の町会・商店街等と一緒に活動することでメリットも生まれます。ナイトパトロールを通じて、町会にとっては商店街などの情報を得る事ができ、商店街にとっては情報伝達や気軽に相談できるコミュニケーションの場となっていることもあり、徐々にメンバーが増えます。会長の玉利さんは、「多様なまち、下北沢だからこそ言いたい事を言える関係が大事!」と言います。

月に一度、顔を合わせ、一緒にパトロールしながら交流を図ることで信頼関係が生まれ、ナイトパトロールは地域活動を円滑に動かす縁の下の力持ちを担っています。



お話を伺った方
玉利 久江さん
北沢2丁目協和会 会長
森 繁さん
北沢2丁目協和会 防犯部長

まちの治安を守る

落書き消し隊

プロジェクト・プロフィール

主催：落書き消し隊

活動開始年：平成14年（2002年）

主な活動場所：下北沢南口商店街など

活動概要

「書かれても、また消す」

落書き消し隊の活動は、平成14年からスタートしました。商店街のシャッターなど、どこにでも描かれる落書きを、所有者の許可を得て上塗りをして消す方法で「書かれても、また消す」を繰り返してきました。

きっかけ・経緯

落書き消しは誰でも出来る自主防犯活動

当初、吉田さんたちは清掃活動などを行っていましたが、街中にみるみる増える落書きを見て、放置しておく治安意識が低い界限と思われて、犯罪の入口になってしまうと危機感を募らせ、落書き消し隊を結成しました。

参加者はまちの人達を中心に外部からの学生なども含めて20名程。最近はメンバーが高齢化し、若い人達の参加を待ち望んでいます。



特徴・工夫など

他団体から励みももらって

消してもまたすぐに書かれてしまうため、活動をやめようかと考えていた頃、テレビ番組『ご近所の底力』に出演する機会を得て、やめずに続ける励みももらい、現在でも活動を続けています。

その後、落書き防止策として始めたシャッターに絵を描く「シャッターアート」は、今では下北沢らしい景観の一つにもなっています。



お話を伺った方
吉田 圀吉さん
落書き消し隊長

世田谷代田を住みよく安心なまちにしよう!

プロジェクト実行委員会* 世田谷代田SAP

プロジェクト・プロフィール

主催：世田谷代田 SAP

活動開始年：平成16年（2004年）

開催時期：2回程度 / 年

主な活動場所：環七沿いの小田急線高架下

活動概要

*世田谷代田SAPの正式名称

環七高架下の壁面に地域住民と子供たちが壁画を描く

世田谷代田SAPの活動は、環状七号線沿いの小田急線高架下の壁面に絵を描き、それを定期的にメンテナンスする活動です。小学生の通学路にも関わらず、落書きが多く薄暗い場所だったため、代田小学校PTA、町会、新代田地区委員会、商店会など地域住民が声を掛け合い、SAPを設立し、平成16年から17年にかけて多くの地域住民と子ども達によって壁画を描きました。その後は、現在に至るまで16年間、毎年メンテナンスを行っています。



お話を伺った方
齋田さん
世田谷代田SAP代表
右から二人目が齋田さん

特徴・工夫など

地域ぐるみの協力体制

SAPには各団体からメンバーが参加しているため、地域ぐるみの協力体制がすぐに立ち上がることが強みです。住民自らが自分達のまちを安全安心なまちにしようという想いが活動の継続に結びついています。

4 まちの憩いの場をつくりたい

ここでは、地域の皆さんの居場所や楽しみ場、緑に親しむ場など、まちの憩いの場をつくりたいという想いから始めた活動をご紹介します。自身の身近な場所や、比較的小規模なスペースから活動を始めて、状況に応じて活動を展開しているものもあります。

まちの日常に音楽を まちピアノプロジェクト

プロジェクト・プロフィール /
主催：北沢PR戦略会議
活動開始年：平成30年（2018年）
開催時期：通年
主な会場：小田急線世田谷代田駅



お話を伺った方
柏 雅弘さん
まちピアノプロジェクト代表

■ 活動概要

誰もがピアノを演奏できる

まちピアノプロジェクトは、小田急電鉄協力の下、世田谷代田駅のコンコースにピアノを設置し、駅利用者なら誰もがピアノに触れることが出来る機会を提供するプロジェクトです。

北沢PR戦略会議と地元有志によって運営されており、駅構内に2週間程度ピアノを設置する取り組みをこれまで2回開催し、近所にお住いの多くの方々に愛されるプロジェクトになってきています。

■ きっかけ・経緯

日常に音楽を

きっかけは「日常生活の中に音楽があることが当たり前にある風景をつくりたい。」という北沢PR戦略会議のメンバーの想いでした。ピアノは趣旨に賛同いただいた方から寄付していただきました。

また、開催時にはプロジェクトのメンバーが交代で見守るようにしています。

■ 特徴・工夫など

演奏者と観客の判断を尊重して

開催時には、メンバーが見守っていますが、できるだけルールを設けず、演奏者と観客のその場の判断に任せていることが運営の秘訣です。

最近では地元のイベントにも参加する話をいただくなど、徐々にプロジェクトが地域に浸透してきています。

課題であるメンバーの増員を図りながら、やがては期間を区切らずに、常設できたらと考えています。

まちをつなげる、ひとをつなげる、 まちづくりの社会実験プロジェクト 下北沢リンク・パーク

プロジェクト・プロフィール /
主催：北沢PR戦略会議 駅広部会
活動開始年：令和元年（2019年）
開催時期：通年
主な活動場所：下北沢駅前道路予定地など

■ 活動概要

街中に憩いの空間をつくる

下北沢リンク・パークは、北沢PR戦略会議の駅広部会のメンバーを中心として2019年からスタートしたプロジェクトです。下北沢駅前の道路予定地などに青く塗った椅子や人工芝を敷き、街中に誰でも使える公共空間を作る活動として、週末を中心に開催しています。

■ きっかけ・経緯

まちの課題を解決し、まちをつなぎたい

元々は、「街中に誰もが休める空間が少ない」というまちの課題を解決したいという想いがメンバーの中にありました。又、子育て団体等にイベント活動の場として提供するなど、他の活動団体との連携を図り、活動や人をつなげていきたいという想いからスタートしました。

地域の方への相談により実現

しかし、実際に場所はどのようにするのか、活動費用はどうするのかなどの具体的な内容まで固めるためには、地域の方の協力なしに進めることはできませんでした。そこで、谷口さんたちは、商店街の会長に相談し、別の商店街の方を紹介してもらうことで、開催場所などをスムーズに調整することが出来ました。



お話を伺った方（右から）
谷口 岳さん
駅広部会
足立圭介さん
駅広部会
岩田正吾さん
下北沢一番街 商店街振興組合・駅広部会

■ 特徴・工夫など

将来に向けた社会実験の場

会場の道路予定地は、通常は世田谷区の協定により、商店街が管理している場所であるため、商店街と協働することで開催が可能となりました。

また、「開催時はルールや禁止事項は明記せず、その場で自然発生的にできていくルールを大事にしている（谷口さん）」ように、社会実験により将来的な駅前広場などの管理・活用に向けた試行錯誤をする場となっています。

column

北沢PR戦略会議とは

北沢PR戦略会議は、小田急線上部利用施設等の整備によるまちの変化に伴い、区施設の活用や上部利用施設及びその周辺の「まちの魅力」を高める活動を地域の皆さまが検討し、実践していく場です。地域の様々な団体と活動を通じて交流し、地域の想いをつなげていきます。もっと地域を知りたい、地域の良さをみんなに知ってほしい、地域を盛り上げたいなど、あなたの想いを広げていくことができます。



北沢PR戦略会議の9つの部会と1つのプロジェクトチームの活動テーマ

- シモキタ編集部
まちや北沢PR戦略会議についての情報発信
- 下北沢案内チーム
まちの案内・コンシェルジュ
- シモキタの新たな公共空間を再考する部会
新しい公共空間についてのあり方を考える
- イベント井戸端会議
地域の文化に合ったイベントの検討
- 子どもから高齢者まで安全にすこせるユニバーサルデザインチーム
誰もが安全に使いやすくわかりやすい街づくり
- シモキタ緑部会
街中に緑を増やす
- 駅広部会
下北沢駅前広場のあり方について考える
- 公共空間運用ルール部会
公共空間などについての運用ルールづくり
- キタザワ リサーチ
基礎データの収集・分析
- まちピアノプロジェクト
音楽・芸術が近くにある生活環境づくり

地元を楽しみの場を提供する

代沢芸術祭

プロジェクト・プロフィール

主催：代沢芸術祭実行委員会

活動開始年：平成28年（2016年）

開催時期：4月下旬～5月上旬

主な会場：北澤八幡神社、東京聖三一教会
森蔵寺、代沢小学校

■ 活動概要

4会場同時に音楽や伝統芸能を

代沢芸術祭は、北澤八幡宮、東京聖三一教会、森蔵寺、代沢小学校の4会場です。音楽や伝統芸能を上演することで地域を盛り上げるイベントとして、平成28年から始まりました。

■ きっかけ・経緯

地元でゴールデンウィークの楽しみを

元々この地域には、秋は北澤八幡の例大祭がありましたが、春の催しものがありませんでした。そこで、ゴールデンウィークの際、地元にいる人達に、「代沢に住んで良かった」と思ってもらいたい、幸せな気持ちになってもらいたいという思いからスタートしました。



お話を伺った方
矢島 嗣久さん

代沢芸術祭 代表者会議

■ 特徴・工夫など

実行委員会の動きやすさ優先が運営のコツ

この祭りは、各会場の代表者からなる代表者会議と上演内容などの具体的な準備を行う実行委員会により運営されています。代表者会議の矢島さんいわく、「代表者会議は会場提供と日程調整だけにして、実行委員会が活動しやすいよう具体的な内容は任せるようにしている。」というスタンスにより、複数の会場でのイベントでも円満な運営ができています。



地域を支える想い

ヤマボウシ（39広場管理協力会）

プロジェクト・プロフィール

主催：ヤマボウシ（39広場管理協力会）

活動開始年：平成30年（2018年）

開催時期：通年

主な会場：北沢39広場

■ 活動概要

多世代の憩いの場の清掃・管理

北沢39（さんきゅう）広場は、小田急線の下北沢駅と東北沢駅の間に整備された街区公園です。住居表示（北沢3-9）と親しみやすさから名付けられました。多世代の憩いの場となっている広場は、「ヤマボウシ（39広場管理協力会）」の日々の活動によって環境が保たれています。

■ きっかけ・経緯・特徴

町会活動を越えた人のつながり

ヤマボウシは、北沢39広場の整備に合わせて、区から町会に維持管理活動の相談があったことがきっかけとなり結成されました。掲示板で新たなメンバーを募ると、これまで町会の活動に参加していなかった方々も集まり、共に活動するようになりました。

現在では、町会役員を中心に4グループに分かれてローテーションを組み、清掃や水遣り、草取りなどを行っています。5月と11月の花壇づくりの時期は、有志の方々も集まります。「一緒に作業をしていると地域で支えているという実感が湧き、張り合いになっている」と、田中さんは言います。



お話を伺った方
光岡 明子さん

356花植え隊 代表

■ 世代を超えた人とのつながり

年に数回ある花の植え替え時には、30人前後の方々が集まって活動します。また、隣接する代田小学校の子ども達にも緑に親しんでもらいたいとの思いから、子ども達とともに稲も植えました。公園のお世話を通して、世代を超えた様々な人の繋がりが生まれています。



お話を伺った方（左から）
田中良枝さん
ヤマボウシ代表
横関きみさん
ヤマボウシ
市川美美子さん
ヤマボウシ

本紙にご協力をいただいた皆さま

本誌作成にあたり、区域内の町会・商店会などの皆さまに事前調査を行いました。以下はその際に、ご協力いただいた方々です。

※敬称略・順不同 ※記載内容は令和元年時点のものです。

町会

- 北沢1丁目町会 / 高岡 勝美（副会長）
- 北沢3・4丁目西町会 / 蔭山 誠一（会長）
- 北沢中央自治会 / 上野 民雄（会長） / 五十嵐 博（副会長）
- 北沢2丁目協和会 / 玉利 久江（会長）
- 北沢2丁目南町会 / 吉田 園吉（会長）
- 北沢4丁目町会 / 藤原 成義（会長）
- 代沢5丁目町会 / 中條 郁代（会長）
- 代沢5丁目東町会 / 土井 信男（会長）
- 代沢中町会 / 矢島 嗣久（会長）
- 代沢2丁目北町会 / 赤川 博敏（会長）
- 代田北町会 / 秋元 正美（会長）
- 代田自治会 / 三木 かな子（会長）
- 代田東町会 / 白石 幸江（会長）
- 代田南町会 / 磯崎 元彦（会長）
- 代田4丁目町会 / 秋山 正統（会長）
- 根津山会 / 渡辺 田鶴子（会長）
- 東北沢自治会 / 市川 美美子（会長）
- 守山町会 / 西川 進（会長）

商店会など

- 池の上北口商店会 / 大場 清夫（会長）
- 池ノ上商栄会 / 池添 孝一（会長）
- 北沢5丁目商店街振興組合 / 佐藤 信顕（会計担当）
- 三角橋通り商和会 / 吉原 正行（連絡担当）
- 下北沢東会 / 金子 健太郎（会長）
- 下北沢一番街商店街振興組合 / 大木 弘人（理事長）
- 下北沢南口商店街振興組合 / 瀬川 弘之（理事長）
- 下北沢南口ピュアロード新栄商店会 / 寺崎 浩次（会長）
- しもきた商店街振興組合 / 柏 雅康（理事長）
- 世田谷代田協進会 / 宇田川 昭（会長）
- 代沢通り共栄会 / 佐藤 弘美（会長）
- 代田一丁目商店会 / 長井 正志（会長）
- 代田共栄会 / 菅原 賢二（会長）
- 代田商店会 / 志賀 三平（会長）
- 東北沢商和会 / 大和田 忠利（会長） / 加藤 勝（前会長）

そのほか（インタビューにお答えいただいた方々）

- きたざわまつり / 藤原 成義（実行委員長）
- コラム1 / 小清水 日出夫（元下北沢音楽祭実行委員長）
- 下北沢演劇祭・落書き消し隊 / 吉田 園吉（実行委員長・隊長）
- 下北沢音楽祭 / 柏 雅康（実行委員長）
- 下北沢カレーフェスティバル / 西山 友則（下北沢カレーフェスティバル実行委員会）
- 下北沢リンク・パーク / 谷口 岳（北沢PR戦略会議駅広部会）、足立 圭介（北沢PR戦略会議駅広部会）、岩田 正吾（下北沢一番街商店街振興組合・北沢PR戦略会議駅広部会）
- せたがや梅まつり / 齋田 孝（せたがや梅まつり実行委員長）
- 世田谷代田を住みよく安心なまちにしよう！プロジェクト（略称：世田谷代田SAP） / 齋田さん（世田谷代田SAP代表）
- 世田谷代田ものこと祭り / 南 秀治（世田谷代田ものこと祭り実行委員会代表）
- 代沢芸術祭 / 矢島 嗣久（代表者会議）
- ナイトパトロール / 玉利 久江（北沢2丁目協和会会長）
- 森 繁（北沢2丁目協和会防犯部長）
- まちピアノ・プロジェクト / 柏 雅弘（北沢PR戦略会議まちピアノ・プロジェクト代表）
- 356花植え隊 / 光岡 明子（356花植え隊代表）
- ヤマボウシ / 田中 良枝（ヤマボウシ（39広場管理協力会）代表）
- 市川 美美子（ヤマボウシ（39広場管理協力会））
- 横関 きみ（ヤマボウシ（39広場管理協力会））

様々な人をつなぐ広場づくり

356花植え隊

プロジェクト・プロフィール

主催：356広場花植え隊

活動開始年：平成30年（2018年）

開催時期：通年

主な会場：代田富士356広場

■ 活動概要

代田富士356広場の花壇づくり

代田富士356（みごろ）広場は、世田谷区立代田小学校の隣の小田急線が地下から顔を出すトンネル上部に整備された広場です。住居表示（代田3-56）と、広場からの富士山の眺望をもとに名付けられました。現在は「356広場花植え隊」が中心となって清掃や花壇づくりが行われています。

■ きっかけ・経緯・特徴

計画段階からの参加

地域住民が公園の計画段階から携わったことがきっかけとなり、町会や知人などに呼びかけて結成されました。活動に賛同して遠方から参加される方もいます。

キタザワ イベントカレンダー & マップ

本誌が対象とするエリアでは、地域の皆さまによって多くのイベントが開催されてきました。ここでは、この地域で行われてきた主なイベントをカレンダーとマップでご紹介します。



- | | | | |
|---|--------------------------------------|-----|---|
| 春 | ① せたがや梅まつり (2月) [せたがや梅まつり実行委員会] | 冬 | ⑫ 下北沢あずま通りイカ祭り (12月) [下北沢東会] |
| | ② 代沢芸術祭 (4月) [代沢芸術祭実行委員会] | | ⑬ 下北沢にて (12月) [下北沢にて制作委員会] |
| | ③ シモキタ名人戦 (5月) [下北沢東会] | | ⑭ 東北沢歳末のありがとうまつり (12月) [東北沢商和会] |
| | ④ 東北沢夏のありがとうまつり (7月) [東北沢商和会] | | ⑮ 小径のノエル (12月) [小径のノエル実行委員会] |
| 夏 | ⑤ 下北沢音楽祭 (7月) [下北沢音楽祭実行委員会] | 毎月 | ⑯ 下北沢大学 [しもきた商店街振興組合] (春・秋は特別開催あり) |
| | ⑥ 下北沢盆踊り (8月) [下北沢東会] | | ⑰ 下北沢天狗まつり (2月) [天狗まつり実行委員会] |
| | ⑦ 下北沢一番街 阿波おどり (8月) [阿波おどり実行委員会] | | ⑱ 糸魚川フェア [しもきた商店街振興組合] |
| | ⑧ 世田谷代田 ものこ祭り (8月) [世田谷代田ものこ祭り実行委員会] | | ⑲ 気仙フェア [しもきた商店街振興組合] |
| 秋 | ⑨ 下北沢カレーフェスティバル (10月) [下北沢商店連合会] | 不定期 | ⑳ 下北沢古着マーケット - Shimokitazawa FURUGI Market - [下北沢商店連合会] |
| | ⑩ 下北沢映画祭 (10月) [下北沢映画祭実行委員会] | | ㉑ ばるばる下北沢 [下北沢商店連合会] |
| | ⑪ きたざわまつり (10月) [きたざわまつり実行委員会] | | |

※ここで紹介しているイベントやお祭りは、世田谷区が後援している主なものと本誌で紹介しているものです。